

※ ◇全館共通項目は、中央図書館を含めた中心館が共通の意識を持って取り組んだ事業。 ◆館の重点評価項目は、西川図書館が重点的に取り組んだ事業。

中心図書館名： 西川図書館

区分	事業名	事業概要	実施結果	評価	
				自己評価	外部評価
課題解決型図書館	◇全館共通評価項目 ・システム統合によるオンライン化の実施	・市内18館のオンライン化によりどの館からでも貸出返却を可能にする。 ・オンライン館の資料回送を毎日の運行とする。	・6月に中央図書館を含む市立図書館14館とオンライン化、12月には全市立図書館がオンライン化した。	・合併して5年、オンライン化した館の資料を貸し出せるなど、他館と同様のサービス提供が可能となった。	○カードが1枚になり便利になってよかったです。オンライン化で資料の供給力は向上しましたが、まだ知らない市民が大勢いると思います。 ○以前のカードからの切替により登録者数が減ったと思われます。住民への周知、登録への呼びかけが必要です。
	◆館の重点評価項目 ・パス・ファインダー(情報への案内サービス)の作成	・西川図書館でパス・ファインダーを5つ以上つくる	・3件作成した。	・件数は目標に達しなかったが、西川・岩室・潟東図書館で作成し、利用者に提供できた。	○パスファインダーの名称や中味が知られていないので、広報が必要です。 ○作成したパス・ファインダーについては今後利用者の評価を聞き、改善することがあれば、今後活かして欲しい。 ○パス・ファインダーは、調べ学習などで需要のある学校で学校司書が独自に作っていたり、材料を持っていたりすることも考えられるので、学校と情報交換をしたほうがよいと思います。
分権型図書館	◇全館共通評価項目 ・地域資料の収集	・各区を代表する人物・自然風土・産業等の地域コレクションの形成と展示を実施する。 ・特に中心図書館所在地域の資料収集に努める。 ・地域資料の寄附を呼びかける(西川)	・地域資料26冊の寄附を受けた。	・思ったほど集まらなかった。必要としている本に関するPRの方法を検討する必要がある。今後も継続する。	○地域資料や専門的な資料は個人所有が多いと思います。個別に働きかけ不要になったら寄附してもらうなど、声がけを行なう必要があります。集まらなければPR不足だと思うので、もっと地区の回覧板を利用するか地域の集まりでPRをすべきだと思います。 ○寄附だと抵抗がある人もいると思うので、寄附を受けるのはどうでしょうか。 ○地域をテーマにした講演会を行なっているのでも、その会場や関係者から、郷土関係の資料が集められないでしょうか。
	◆館の重点評価項目 ・利用者懇談会の開催	・西蒲区の図書館利用者を対象に利用者の声を聞くための懇談会を開く(1回以上)	・11月13日に実施し、4人が参加した。	・参加者が少なかったが要望が多く出た。これからも継続するのが良いと考えている。	○利用者懇談会は内容が濃いので、参加者が少なくても継続が必要だと思います。 ○要望に対し、館としての答えを出して知らせることが大切です。 ○途中で時間切れにならないような組み立てをし、意見を聞き、図書館を良い方向に変えていって欲しい。 ○職員は市民が満足できるように、仕事に取り組むことが大切だと思います。 ○出来ないこともあると思うが、市民の意見に耳を傾け、大事にして欲しい。中之口でも開催して欲しい。 ○参加するメリットがないと人は集まらないので、インパクトある名称を考えて欲しい。(魅力的な副題をつけるなど)。 ○文句を言いたい人だけが集まる会にならないようにして欲しい。 ○懇談会だけでなく、普段利用されている人に気軽に意見・要望を聞いてみるという方法もあると思います。
学・社・民融合型図書館	◇全館共通評価項目 ・ブックスタート実施計画の作成	・H23年度からの実施に向けて、推進委員会で策定された基本方針に基づき、各区の実施計画を作成する。	・実施計画を作成し、西蒲区の関係機関と実施に向けた調整を図った。	・他の課との関わりで苦勞した面もあるが、図書館が関係機関と協議しながら企画を練ったのは職員にも得るところが多かった。	○小さな頃から子どもが本に親しみ、心を開く環境づくりを望みます。 ○準備は人手もない中大変だったと思いますが、事業がうまく進めば効果は大きいと期待しています。 ○ブックスタートに対する乳幼児を持つ母親たちの関心は高いと思います。図書館を利用する第一歩として大事な取組なので、今後期待します。 ○計画の実施にあたって、関係機関との連携が必要と思われるので、さらに関係を深め、積極的に参加してもらえるよう働きかけて欲しい。
	◆館の重点評価項目 ・学校図書館の夏休みの地域開放の支援(学校図書館支援センター)	・夏休み期間中、学校図書館の地域開放に向けた支援を行う。(2校以上)	・7校(巻南小・潟東東小・中之口西小・越前小・中之口東小・松野尾小・鎧郷小)の地域開放を支援した。	・学校との連携が出来た。これからも継続していく必要がある。	○各地域に学校があるので、いつでも誰でも楽しめる場を作ることが望ましいので、今後も継続してやって欲しい。 ○支援を効果的に行うために、学校のニーズ・要望を聞き、継続して欲しい。 ○目的がよく分からないし、どのような効果があったのか疑問です。夏休みに図書館に人を集めることを考えたほうが良いと思います。 ○西川図書館にはブックバス(移動図書館車)がないので、夏休みなどの機会に団体貸出などの形で公共図書館の本をまとめて提供できないでしょうか。特に近くに公共図書館がない地域の学校には必要だと思います。
パートナーシップ型図書館	◇全館共通評価項目 ・共催事業の実施	・市民との協働をいっそう推進するためボランティア・教育機関や民間団体と連携して事業を行う。	・「子どもの本勉強サロン6回」「イギリス文学シリーズ3回講座」「良寛2回講座」「5周年記念講演会」を様々な団体と共催した。	・ボランティアの人たちに支えられた。今後ボランティアの人たちを組織化していくことでより協力関係を強化したい。	○ボランティアとの連携は大事なのでこのまま継続して欲しい。 ○西川では、ボランティアをよく集めていて、楽しく活動しています。他の地区館でもボランティアと協力して進める努力が必要です。 ○ボランティアからの要望を聞き、これからもボランティアの積極的な活動を支援して欲しい。 ○ボランティアをする顔ぶれがいつも決まっているようなので、今後幅広いテーマの講座を行なっていくためには、ボランティアの人材発掘が必要です。図書館員は積極的に地域の人材の発掘に努めて欲しい。
	◆館の重点評価項目 ・ボランティア交流会の開催	・西蒲区の図書館ボランティアを対象に交流会を開く(1回以上)	・12月19日に実施し、4人が参加した。	・他の図書館行事と開催時期が重なってしまい参加者が少なかったが、今後も継続する必要がある。	○ボランティア交流会の回数を増やし、参加できる機会を増やすと良いと思います。 ○今後も継続してやって欲しい。西蒲区の図書館ボランティアのPRが必要です。 ○図書館と各地に散らばっているボランティア団体とが、あまり繋がっていない感じを受けます。団体を把握して連携を取る必要があると思います。 ○利用者懇談会と同様に参加するメリットをあまり感じてないため、参加者が少ないと思われます。ボランティアのニーズを把握し、それに応える内容にしたほうが良いと思います。他のボランティア・グループと交流するメリットが、もっと明確に伝わるようにすると良いと思います。 ○交流会の場だけではなく、日常活動している時に意見・提案を聞き、図書館で活かすことを考えるとよいと思います。